

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	セルフブランディング		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	セルフブランディング	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用□					
授業概要						
オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。(自己啓発、リーダーシップ、価値観、目標達成など) また、卒業生や外部協力企業に依頼してオリジナルコンテンツを作成し、視聴する。						
到達目標						
学生自身が、その手にしっかりと「自分の人生のオール」を持ち、漕いでいくために、自分のブランドを知り、自分が目指すのはここだ！という「羅針盤(コンパス)」を設定できるようなコンテンツを、オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	「理想の自分、なりたい自分」と価値観					
【前期】 9～13回目	ビジョン・ゴール					
【前期】 14～19回目	感情のコントロール					
【後期】 20～24回目	思考のルール					
【後期】 25～27回目	リーダーシップ					
【後期】 28～33回目	チームビルディングとフォローアップ					
【後期】 34～37回目	物事のとらえ方(パラダイムシフト)					
【後期】 38回目	コミュニケーション力					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	各動画については、レポートを課す。①今回の動画で印象に残った言葉は？②今回の動画を視聴して、明日から行動することを具体的に1つあげてください。③今回の動画の感想は？ 一方的な動画視聴で終わらないように、担当教務からのフィードバックを全体に行っている。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	一般教養講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	一般教養講座	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース/企画制作コース/ レコーディングコース/PA&レコーディングコース/アーティストスタッフコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	音楽専門誌の記者を経て、東京未来大学こども心理学部・特任准教授として教鞭をふるう。 現在は音楽教育の場におけるコミュニケーションのあり方をテーマに研究中。					
授業概要						
「コミュニケーション能力」「状況判断能力」「説明能力」の3点をテーマとした講義。						
到達目標						
社会人としての基礎的スキルの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	Eメールの使い方/Eメールのアドレス帳の活用 言葉による状況説明①(時系列) 就職活動セミナー①					
【前期】 6～10回目	言葉による状況説明②(情報の整理)/言葉による状況説明③(話の要約)/言葉による状況説明④(主観と客観) 文章の書き方①(話し言葉、書き言葉)/文章の書き方②(5W1Hの活用)					
【前期】 11～15回目	ビジネスメールの書き方 就職活動セミナー② ビジネス文書①(文書の種類)/ビジネス文書②(社内文書)					
【前期】 16～19回目	ビジネス文書③(社外文書)/ビジネス文書④(社交文書) コミュニケーション論(概論)/非言語コミュニケーション/表情とコミュニケーション					
【後期】 20～24回目	就職活動セミナー③ 距離によるコミュニケーション/言語コミュニケーション/説得的コミュニケーション					
【後期】 25～29回目	敬語①(敬語の分類)/敬語②(尊敬語)/敬語③(謙譲語)/敬語④(間違いやすい敬語)/敬語⑤(仕事でよく使われる敬語)					
【後期】 30～34回目	就職活動セミナー④ 履歴書の書き方①(基本データ)/履歴書の書き方②(自己PR)/履歴書の書き方③(志望動機)					
【後期】 35～38回目	【心理学講座】 自分を知る/社会からの影響/他者との関わり					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	マーチャンダイジング論		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	マーチャンダイジング論	年次	1・2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	19回(38単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース/音楽スタッフ総合コース/企画制作コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	キティミュージック(現ユニバーサルミュージック)にて音楽活動を開始。井上陽水の前座などを務める。音楽活動終了後はTV番組制作会社に就職しアニメーション演出担当で数多くの作品に携わり、その後音楽出版社・レコード会社にて著作権管理や原盤制作ディレクターの業務やライブイベント制作を行う。					
授業概要						
顧客に対してどのような関係性で、価値を創造し・伝え・届けるかを学び、お金の動きを学ぶ。						
到達目標						
エンタテインメント業界のビジネスの仕組みを理解し、顧客に対してどのような価値を与えるか？時代の価値に対応した考えを身につけることで、今後の音楽芸能業界に新しいエンタテインメントビジネスを生み出せる人材の育成						
授業計画・内容						
【後期】 1～2回目	エンタテインメントビジネスの仕組み マーケティングと消費者行動論					
【後期】 3～4回目	エンタテインメントビジネスにおけるマーチャンダイジングの歴史					
【後期】 5～6回目	マーチャンダイジングとは:ISM(インストア・マーチャンダイジング) マーチャンダイジングとは:VMP(ビジュアル・マーチャンダイジング)					
【後期】 7～8回目	VMP:IP(アイテム)／PP(ポイント)／VP(ビジュアル)					
【後期】 9～10回目	商品企画:対象顧客の重要性 商品企画:価値の創造と伝達					
【後期】 11～12回目	商品企画:商品構成と品揃え 商品企画:プライスゾーンとプライスライン					
【後期】 13～14回目	マーチャンダイジング実践:ライブイベントについて					
【後期】 15～17回目	マーチャンダイジング実践:CD販売について					
【後期】 18～19回目	マーチャンダイジング実践:配信について					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	随時プリント資料配布					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	著作権講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	著作権講座	年次	1・2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	19回(38単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース/音楽スタッフ総合コース/企画制作コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	キティミュージック(現ユニバーサルミュージック)にて音楽活動を開始。井上陽水の前座などを務める。音楽活動終了後はTV番組制作会社に就職しアニメーション演出担当で数多くの作品に携わり、その後音楽出版社・レコード会社にて著作権管理や原盤制作ディレクターの業務やライブイベント制作を行う。					
授業概要						
音楽著作権をはじめとする著作権知識を学ぶ。						
到達目標						
将来音楽ビジネスを行うにあたり、実務として行っていることが、法に抵触するか否かの判断力を養えるようになる。						
授業計画・内容						
【後期】 1～5回目	著作権の概要 著作物、著作者					
【後期】 6～8回目	著作者の権利					
【後期】 9～11回目	保護期間～著作権譲渡と利用許諾について					
【後期】 12～15回目	著作権の制限について					
【後期】 16～17回目	著作隣接権について / 著作権の侵害について					
【後期】 18回目	知的財産権制度 / 情報社会と情報モラルについて					
【後期】 19回目	総括					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	ウイネット ビジネス著作権検定 公式テキスト およびプリント配布					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ライティング講座		授業形態 / 必・選	講義	選択	
	学則上表記	ライティング講座	年次	1・2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース/音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	音楽雑誌『CROSSBEAT』編集者を経て、2002年よりフリーランス。ライターとしてもこれまでに数多のインタビューを行なっている他、2002年よりフジロック・フェスティバルのオフィシャル・パンフ編集長。ライター、ラジオパーソナリティ、放送作家としても活動中。					
授業概要						
依頼文や手紙などの実用文章、レポート文、SNS、小論文など様々な文章の形態について学び、社会人としてのスキルを身につける。						
到達目標						
音楽業界で仕事をする上で必要な文章力を身につける。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	文章の種類:仕事で求められる文章の種類、特徴について解説 語彙を増やす:適切な言葉を選べるようになるためのポイント					
【前期】 6～10回目	語彙を増やす:対義語・類義語のおさらい 語彙を増やす:感情表現のバリエーションを考える					
【前期】 11～15回目	思考訓練:物事を様々な方面から見る練習 思考訓練:名称から実態を想像する／ものに名前を付けてみる					
【前期】 16～19回目	体験したことを文章にする:自分の身に起こったことを文章で説明する 体験したことを文章にする:ライブ・レビューの書き方					
【後期】 20～24回目	調査をして解説する:ニュースなどの詳細を調べて文章をまとめる練習 SNS時代の文章のまとめ方:メディアに合った文章					
【後期】 25～29回目	紙資料を作ってみよう:アーティストの魅力を伝える文章の書き方 紙資料を作ってみよう:互いの資料を読んで感想を伝え合う					
【後期】 30～34回目	論理的思考のための練習:原因と結果の考察 論理的思考のための練習:読み手を納得させる文章のポイント／言葉の再定義					
【後期】 35～38回目	実用的文章(メール):要件がわかりやすいメールの書き方 実用的文章(手紙):時候の挨拶を入れたフォーマルな手紙の書き方					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考	随時プリント資料配布					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	エンタメ業界講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	エンタメ業界講座	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース 企画制作コース/アーティストスタッフコース/音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	2001年に株式会社ダウンコへ入社。部長職を経験後、音楽レーベル子会社へ転籍、プロデューサー職へ。ボーカロイドをはじめとするニコニココンテンツや声優・ラジオコンテンツのCDパッケージを数多く担当。現在はフリーランスとして、ネットやアプリの配信番組も多く担当、その他、動画の撮影編集、SNSを含めた運営及び運用、専門学校講師等に従事。				
授業概要					
アーティスト/タレントとプロダクションを中心とする、エンタテインメント業界のさまざまな職種と業務および関わりを学ぶ。					
到達目標					
業界内の会社知識の修得および業界企業の相関性の理解。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	芸能業界の全体像について				
【前期】 6～10回目	プロダクションの業務内容について レコード会社の業務内容について				
【前期】 11～15回目	著作権について 音楽出版社の業務内容について				
【前期】 16～19回目	TV・ラジオ/書籍出版社/Webメディアの業務内容について 媒体研究				
【後期】 20～24回目	RECスタジオ/マスタリングスタジオ/リハーサルスタジオについて				
【後期】 25～29回目	映像制作会社/編集スタジオ/MAスタジオ/音プロについて				
【後期】 30～34回目	ホール/ライブハウス/イベントについて				
【後期】 35～37回目	PA/照明/舞台/ローディー/機材レンタル会社について				
【後期】 38回目	総括。				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	マネジメントワーク		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	マネジメントワーク	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース/企画制作コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	自身のアーティストとしての活動を経て、プロダクションにてアーティストのプロデュース、マネジメントに従事。 その後、ユニバーサルミュージックにて新人アーティストシンガーソングライターのヒットなどを手掛け、現在はNPO法人ミュージックソムリエ協会の理事も兼任。その他、大手企業との協業イベント実施や企画提案などの進行も担当する。				
授業概要					
プロダクションとマネージャーの業務内容を把握し、マネジメントの売上方や仕組み、プロダクションの立ち位置や役割、対メーカー、対媒体等、総合的に考え動くことができるよう、基礎となる知識を学ぶ。					
到達目標					
プロダクションやマネージャーに関する基礎知識の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	マネジメントの成り立ち マネジメント:仕事の流れ				
【前期】 6～10回目	マネジメント:事務所／ファンクラブ／情報収集／プロフィール作成 マネジメント:新人発掘／オーディション／プレゼンテーション				
【前期】 11～15回目	マネジメント:日本のプロダクションについて① マネジメント:日本のプロダクションについて②				
【前期】 16～19回目	マネジメント:日本のプロダクションについて③ マネジメント:日本のプロダクションについて④				
【後期】 20～24回目	マネジメント:アーティスト・俳優・タレント・声優との関わり方① マネジメント:アーティスト・俳優・タレント・声優との関わり方②				
【後期】 25～29回目	マネジメント:アーティストプランニング／スケジュールの組み方 マネジメント:GoogleMap／道路／新幹線／飛行機／行程組み				
【後期】 30～34回目	マネジメント:音源制作／ビジュアルワーク制作／ミュージックビデオ制作				
【後期】 35～36回目	マネジメント:営業／お店とインスタ／アウトストア マネジメント:プロモーション／宣伝／販売促進				
【後期】 35～38回目	マネジメント:ライブ制作／予算と場所／宣伝／グッズ マネジメント:セット図／セットリストについて				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	レーベルワーク		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	レーベルワーク	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	19回(38単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	自身のアーティストとしての活動を経て、プロダクションにてアーティストのプロデュース、マネジメントに従事。 その後、ユニバーサルミュージックにて新人アーティストシンガーソングライターのヒットなどを手掛け、現在はNPO法人ミュージックソムリエ協会の理事も兼任。その他、大手企業との協業イベント実施や企画提案などの進行も担当する。					
授業概要						
レコード会社/レコードレーベルの業務内容を把握し、売上方や仕組み、レコード会社/レコードレーベルの立ち位置や役割、対メーカー、対媒体等、総合的に考え動くことができるよう、基礎となる知識を学ぶ。						
到達目標						
レコード会社/レコードレーベルに関する基礎知識の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～2回目	レコード会社の成り立ち レコード会社:仕事の流れ					
【前期】 3～4回目	レコード会社:制作／宣伝／営業(販促) レコード会社:メジャーとインディーズ／流通					
【前期】 5～6回目	レコード会社:日本のレコード会社について① レコード会社:日本のレコード会社について②					
【前期】 7～8回目	レコード会社:日本のレコード会社について③ レコード会社:日本のレコード会社について④					
【前期】 9～10回目	制作:マーケティング 制作:コンセプト					
【前期】 11～12回目	制作:楽曲づくり 制作:リファレンス					
【前期】 13～14回目	制作:ジャケット制作基礎 制作:レコーディング基礎					
【前期】 15～17回目	宣伝・営業(販促):宣伝プラン／ミュージックビデオ① 宣伝・営業(販促):宣伝プラン／ミュージックビデオ②					
【前期】 18～19回目	宣伝・営業(販促):営業プラン／販売促進① 宣伝・営業(販促):営業プラン／販売促進②					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ファンクラブワーク		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	ファンクラブワーク		年次	1年次
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	19回(38単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大学卒業後、学校法人で勤務。その後、ソニー・ミュージックグループで販促物の製作やレーベルマネージメントとしてライブ制作やグッズ製作、ファンクラブおよびA&Rアシスタントなど360度ビジネスを経験。女性クラシックヴァイオリニストのマネージメントを10年経て現在は韓国アーティストのライブ制作等に従事。				
授業概要					
ファンクラブとは何かを知るために、音楽業界の仕事の種類を知って各々どのような業務をしているか基礎知識を学ぶ。					
到達目標					
ファンクラブに関する基礎知識の修得。 及び、業界内の仕事が線で結ばれていることを知り、その中で自分がファンクラブを運営したいという志を持ってもらう。					
授業計画・内容					
【前期】 1～2回目	ファンクラブ、及びその他音楽業界に関わる仕事・人を知る				
【前期】 3～4回目	マネージメントとの関わり方・グッズ製作(販促物含む)				
【前期】 5～6回目	360度ビジネスについて				
【前期】 7～8回目	音楽業界とファンクラブについて知る				
【前期】 9～10回目	FCイベント企画制作・チケット先行、特典				
【前期】 11～13回目	FCイベント・企画制作に関わるリレーション				
【前期】 14～18回目	会報誌の作成、ライブレポートの作成				
【前期】 19回目	統括				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	随時プリント資料配布				

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	クリエイティブPCⅠ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	クリエイティブPCⅠ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	企画制作コース/アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	広告プロダクションにて広告デザインに携わる。その後様々なプロダクションにてデザインの業務に従事し、現在は独立。CDジャケットや本の装丁を中心に、アートディレクター、デザイナーとして活動。				
授業概要					
Macの基本操作、Illustrator・Photoshopを使用した書類、印刷物などの作成方法、ファイルフォーマット知識等PCの基本的リテラシーを学ぶ。					
到達目標					
Google、Illustrator、Photoshopの基本的な操作法およびデータファイルのビジネスでの使い方の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	Excel ・時間割の作成・セル内縮小・改行 ・関数 ・アートワード・図形描画・重なり合い ・タイムテーブル作成				
【前期】 6～10回目	色彩 ・RGBとCMYK・キーとの組み合わせ他 ・フォントの用法 ・ペンツール練習 ・ダイレクト選択ツール ・重なり合い				
【前期】 11～15回目	Illustrator ・トレース練習 ・図形描画 ・レイヤー ・文字ツール ・テキストエリア ・整列 ・パス ファイン ・スポット ・はさみ等 ・Illustrator&PDFデータ作成 入稿データ作成手				
【前期】 16～19回目	Photoshop ・調整レイヤーによる補正 ・選択範囲の作り方・クイックマスク illustrator&photoshop 入稿データ作成				
【後期】 20～24回目	web 基礎知識(Dreamweaver) ・インターネットの仕組み、ネットリテラシー等 ・拡張子による形式の違い/カラーコード 16進数				
【後期】 25～29回目	web 制作(Dreamweaver) ・タグの使用ルール・基本的なタグ サンプルページの作成 ・要素・属性・値/align・imgなど ・絶対パスと相対パス				
【後期】 30～34回目	web 制作(Dreamweaver) ・Illustrator&photoshopでWeb用画像素材の作成 ・サンプルページ完成				
【後期】 35～36回目	web 復習 CSSの使い方・違い・使い分け				
【後期】 35～38回目	gifアニメの作成 サンプルページをDreamweaverを使用して作成				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	学園MAC使用				

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	プロダクション実習Ⅰ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	プロダクション実習Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース/企画制作コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	キティミュージック(現ユニバーサルミュージック)に入社。マネージャーを担当。退社後、さまざまなアーティストのマネジメント&原盤制作で数々のヒットに貢献する。2005年にシューティングスター有限会社設立。主な業務としてマネジメント、原盤制作、ライブ制作等を行ない、現在はSEX MACHINEGUNSのエージェントなどに従事している。					
授業概要						
自身が一つのプロダクションに所属していると想定し、その中でマネジメント、レコードメーカー、ファンクラブ的な役割を担いながら、それぞれのセクションでの動きを実践していく。プロダクション実習Ⅰでは、二年次のプロダクション実習Ⅱの前段的な動きとして、イベントの実施方法や担当アーティストの発掘を授業内でおこなう。						
到達目標						
対外とのやり取りやイベントの実施方法、宣伝広告の方法論、アーティスト発掘の方法論の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～9回目	オーディション概要／どんなアーティストを募集するのか					
【前期】 10～19回目	必要な宣伝方法／募集要項／選考方法／スケジュールリング					
【前期】 20～29回目	オーディションライブプレゼンテーション練習					
【前期】 30～38回目	オーディションライブプレゼンテーション本番					
【後期】 39～41回目	オーディションフライヤー作成／エントリーシートなどの作成					
【後期】 42～51回目	1次審査、2次審査についての内容を決定					
【後期】 52～61回目	選考締切～1次選考～結果通達					
【後期】 62～71回目	選考締切～2次選考～結果通達					
【後期】 72～76回目	次年度に向けたミーティング / アーティスト顔合わせ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	プロダクション実地演習Ⅰ		授業形態 / 必・選	演習	必修	
	学則上表記	プロダクション実地演習Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	4回(20単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。					
授業概要						
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。						
到達目標						
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。						
授業計画・内容						
1回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント					
2回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修					
3回目	外部企業見学					
4～5回目	ゲスト講師によるプロダクション・レコード会社授業					
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	A & R講座		授業形態 / 必・選	講義	選択	
	学則上表記	A & R講座	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	自身のアーティストとしての活動を経て、プロダクションにてアーティストのプロデュース、マネジメントに従事。 その後、ユニバーサルミュージックにて新人アーティストシンガーソングライターのヒットなどを手掛け、現在はNPO法人ミュージックソムリエ協会の理事も兼任。その他、大手企業との協業イベント実施や企画提案などの進行も担当する。					
授業概要						
アーティストの発掘、育成、マネジメントを行うA&R(アーティスト&レパトリー)という職業について、業務内容や各業務におけるポイント、アーティストとの関わり方等について多角的に学ぶ。						
到達目標						
アーティストが持つバックボーンや音楽の歴史等の知識の修得。音楽ジャンルに関する知識の修得。最新の音楽チャートから売れる音楽を読み、企画・プレゼンできる人材を目指す。						
授業計画・内容						
【後期】 1～5回目	A&Rの仕事：自分にとっての音楽について考える 音楽の歴史：概要～全体像認識					
【後期】 6～10回目	今週のチャートから、チャートから見える音楽業界を読み解く① 今週のチャートから、チャートから見える音楽業界を読み解く②					
【後期】 11～15回目	今週のチャートから、新号のトピックスをいくつか取り上げて解説する① 今週のチャートから、新号のトピックスをいくつか取り上げて解説する②					
【後期】 16～19回目	今週のチャートからチャートインするアーティスト、楽曲、そのプロモーション戦略などを考える					
【後期】 20～24回目	音楽の歴史：音楽シーン/相関(国内編) 音楽の歴史：音楽シーン/相関(海外編)					
【後期】 25～29回目	アーティストプレゼン：アーティスト選定 アーティストプレゼン：魅力の伝え方					
【後期】 30～38回目	アーティストプレゼン：プレゼン準備 アーティストプレゼン：発表					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	デザインワーク		授業形態 / 必・選	講義	選択	
	学則上表記	デザインワーク	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	広告プロダクションにて広告デザインに携わる。その後様々なプロダクションにてデザインの業務に従事し、現在は独立。CDジャケットや本の装丁を中心に、アートディレクター、デザイナーとして活動。					
授業概要						
グッズ制作やロゴ制作等における、デザインの方法やポイントについて学ぶ						
到達目標						
IllustratorやPhotoshopを使用したデザインの技術/アイデアの習得						
授業計画・内容						
【後期】 1～5回目	デザインのチェックポイントについて					
【後期】 6～10回目	バランスや色使いについて					
【後期】 11～15回目	Illustrator: デザインの基本					
【後期】 16～19回目	Illustrator: デザインと理論					
【後期】 20～24回目	Photoshop: 画像処理の基本					
【後期】 25～29回目	Photoshop: 画像処理と理論					
【後期】 30～34回目	Illustrator/Photoshop: アーティストフライヤーの作成					
【後期】 35～36回目	Illustrator/Photoshop: グッズデザイン～グッズの作成					
【後期】 35～38回目	Illustrator/Photoshop: CDジャケット案作成					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。					